

4. 日常の業務で RI(校正線源を含む)を実際に取り扱う機会ほどの程度ですか？また、その内容をお書きください。 例：検出器の校正（1回/月）、実験者の除染支援（～2回/月） など

[]

5. 今後の全国研修について

① 全国研修の開催は？

必要である 必要でない どちらともいえない

理由・意見

[]

② 日程はどうか？

1日 2日 その他（ ）

③ 開催頻度について

年1回 隔年1回 その他（ ____年____回 ）

④ どの様な実習（実施方法・内容等）を希望しますか？

[]

⑤ どの様な講義（実施方法・内容等）を希望しますか？

[]

⑥ 今後の研修（レベル・対象者等）はどうあるべきだと思いますか？

[]

6. 実習コンテンツの収集

本事業では、当該実習のほかに、法令改正によって求められる教育訓練の中でも実習について、今後の各施設で行う実習の参考となるコンテンツを収集・整理・公開することも含まれています。

そこで、皆さんの事業所（大学全体でも構いません）で実施している新規従事者向けの実習資料（製本されていなくても構いません。暫定的に配付している印刷物、パワーポイントのスライドなどでも結構です。）のコピーを添付してお送り頂くよう御協力をお願いいたします。

※分量が多い場合は、その旨、ご連絡ください。

7. その他

（ご意見・ご感想をご自由にお書きください。また今回の総合討論で議題にしてほしい事柄がありましたらご記入ください。）

※過去の全国研修の実習テーマは、国立大学センター長会議ホームページ (<http://ricenters.umin.jp/traningcoursehistory.html>) に、掲載されています。